



おばま 市議会だより

No. 142



- 12月定例会の概要 P2
- 議会報告会が開催されました P6
- 市政を問う！一般質問 P8

12月定例会の概要

平成26年第5回定例会は11月28日から12月19日までの22日間の会期で行われました。

今定例会では、各会計の補正予算案をはじめ、条例その他議案が提出され、慎重に審査しました。また、定例会最終日には、池田英之議員が議員辞職願を提出し、本会議で承認されました。

場」の指定管理者の指定について
賛成全員で可決

◆御食国若狭おばま食文化館「食事処」の指定管理者の指定について
賛成多数で可決

◆小浜市ふるさと文化財の森センターの指定管理者の指定について
賛成多数で可決

◆子どもの医療費助成制度の拡充と窓口無料化についての陳情
賛成少数で不採択

陳情

◆子ども医療費助成制度の拡充と窓口無料化についての陳情
賛成少数で不採択

人事案件

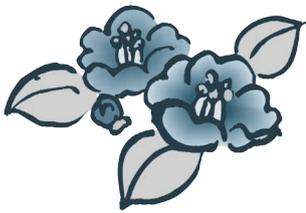
◆教育委員会委員の任命について(山崎正博氏)
賛成全員で可決

◆加斗財産区管理委員の選任について(池上勝哉氏・荒鹿正大氏・地

村豊司氏・梅崎俊一氏・中川清和氏・森下薫氏・栗原大石氏)
賛成全員で可決

諮問

◆人権擁護委員の推薦について意見を求めることについて(野村親史氏・濱田隆氏)
賛成全員で可決



【可決した平成26年度補正予算】

会計名	既決予算額	11・12月補正額	合計
一般会計	157億 506万円	1億3,944万円	158億4,450万円
特別会計	90億5,023万円	1,455万円	90億6,478万円
企業会計	8億8,632万円	585万円	8億9,217万円
計	256億4,161万円	1億5,984万円	258億 145万円

議員辞職

12月19日付で、池田英之議員が一身上の都合により議員辞職しました。



【池田英之議員の略歴】

平成11年4月 初当選

平成14年4月～平成15年4月

民生文教常任委員会委員長

平成15年5月～平成17年6月

まちづくり常任委員会委員長

平成24年10月～平成25年11月

第53代副議長

などを歴任されました。

平成 26 年第 5 回定例会採決結果

賛成全員で可決、同意した議案等

項目	件名
予算	専決処分につき承認を求めることについて (平成26年度小浜市一般会計補正予算(第6号))
	平成26年度小浜市一般会計補正予算(第7号)
	平成26年度小浜市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
	平成26年度小浜市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
	平成26年度小浜市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
	平成26年度小浜市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)
	平成26年度小浜市下水道事業特別会計補正予算(第2号)
	平成26年度小浜市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)
	平成26年度小浜市漁業集落環境整備事業特別会計補正予算(第2号)
	平成26年度小浜市水道事業会計補正予算(第3号)
	平成26年度小浜市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)
	平成26年度小浜市水道事業会計補正予算(第4号)
	条例
小浜市特別職の職員の給与および費用弁償に関する条例の一部改正について	
小浜市議会議員の議員報酬および費用弁償等に関する条例の一部改正について	
小浜市特別職報酬等審議会条例の一部改正について	
小浜市国民健康保険条例の一部改正について	
小浜市営住宅管理条例の一部改正について	
小浜市総合福祉センター等の設置および管理に関する条例の一部改正について	
指定管理	小浜市営駐車場および小浜市自転車駐車場の指定管理者の指定について
	御食国若狭おばま食文化館「健康くつろぎ広場」の指定管理者の指定について
	小浜市ふるさと文化財の森センターの指定管理者の指定について
人事	教育委員会委員の任命について
	加斗財産区管理委員の選任について
諮問	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて



【採決表示ボタン】

ホームページ を見よう！

小浜市議会のホームページには、採決結果や次回定例会の日程、本会議の動画配信（約2週間程度で視聴できます）などさまざまな情報が掲載されています。



賛否が分かれた議案等

項目	件名	採決結果	藤田	西本	小澤	今井	能登	松崎	池田	下中	三木	垣本	藤田	風呂	富永	清水	池尾	宮崎	山本	賛成	反対
			靖人	清司	長純	伸治	恵子	圭一郎	英之	雅之	尚	正直	善平	繁昭	芳夫	正信	正彦	治宇蔵	益弘		
予算	平成 26 年度小浜市一般会計補正予算 (第 8 号)	全	○	○	○	○	○	欠	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	15	0
指定管理	御食国若狭おばま食文化館「食事処」の指定管理者の指定について	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	×	○	15	1
陳情	子どもの医療費助成制度の拡充と窓口無料化についての陳情	否	×	×	×	×	○	×	×	×	×		×	×	○	○	○	○	×	5	11

全＝賛成全員（可決・採択） 多＝賛成多数（可決・採択） 否＝賛成少数（否決・不採択）
 ○＝賛成 ×＝反対 欠＝出席せず 除＝除斥（規定により採決に加われない）
 ※垣本正直議員が議長のため採決には加わっておりません。

委員会審査

予算決算常任委員会

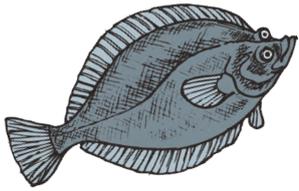
◆企画調査経費

140万9000円

【問】ふるさと納税の謝礼として送る産品の選定基準は。

【答】現在は選定基準を設定していない。谷田部ねぎや若狭かれい等、当市のブランド認証品を送っている。

【意見】制度の趣旨に合わない謝礼合戦にならないように。



◆再生可能エネルギー等導入事業

200万円

【問】避難所に指定されている小浜小学校に太陽光発電が導入されるが、災害時の電力をどのように使用するのか。

【答】主に災害情報を手でできるテレビやパソコン、携帯電話等を使用するための電力とする。

◆若狭塗着発信事業

261万8000円

【問】ミラノ万博日本館に提供される箸に、若狭おばまのPR等を入れることができるのか。

【答】デザインや規格等は、提供先の意向で決定されている。箸置きやテーブルクロス、カウン

ター等を利用しPRできないか現在交渉中。

◆若狭武田氏館跡測量調査事業

192万7000円

【問】跡地を史跡と史跡外に区分する意味は。

【答】すべてを史跡にするという方が制限されるため、後々自由に使える部分を残したほうが活用しやすい。いくつか選択肢はあるが、観光施設等といったものは難しく、館の復元が最も自然であり、上屋を復元せず、礎石などで基礎の位置だけを復元するような方法もある。

総務民生常任委員会

◆議案第84号 御食国若狭おばま食文化館「健康かつろぎ広場」の指定管理者の指定について

【問】業務委託と指定管理の違いとメリットは。

【答】指定管理者になることで自主事業に取り組め、市民サービスの向上につながる。

◆議案第85号 御食国若狭おばま食文化館「食事処」の指定管理者の指定について

【意見】濱の四季は小浜の観光発展の起爆剤、発信地なので、そのことを遵守してほしい。

◆議案第88号 小浜市総合福祉センター等の設置および管理に関する条例の一部改正について

【問】指定期間の延長は、介護事業計画と施設運営の整合性に影響は無いのか。

【答】問題は無い。

【意見】指定管理者に競争原理が働く仕組み作りを。

◆陳情第15号 子どもの医療費助成制度の拡充と窓口無料化についての陳情

【意見】安易な受診が増えて医療費の増大を招く。

【意見】国民健康保険特別会計の歳入が減額されるペナルティーが発生す

る。

【意見】全国的には現物給付を採用している都道府県が多く、県も子育て支援の観点から変更すべき。



産業教育常任委員会

◆議案第82号 小浜市営住宅管理条例の一部改正について

【問】市営住宅の優先入居の方法等について。

◆議案第87号 小浜市ふるさと文化財の森センターの指定管理者の指定について

【問】昨年度までの活動状況について。

【意見】より良い活用を求める。

濱の四季 外観



濱の湯 露天風呂



若狭武田氏館跡



2015年夏、「ギンズキッチン」「若狭塗箸」ミラノ万博出展。



小浜から世界へー

各常任委員会が視察を行いました

視察日：平成26年10月15日～16日

視察先：兵庫県各市町、兵庫県加西市

総務民生常任委員会

◆兵庫県各市町

小浜市の広域避難場所となつている兵庫県豊岡市、朝来市、養父市、市川町、福崎町、姫路市の各避難所を視察し、担当者からの説明を受けました。



朝来市避難所



豊岡市避難所

◆兵庫県加西市

全国的に人口減少が進む中、小浜市においても継続的に人口が減少しています。平成22年国勢調査での3万1340人が、30年後の平成52年には2万3372人となり、25・4%減少すると予想されています。そこで、「5万人都市再生」を目指す兵庫県加西市の人口増政策課の取り組みを学びました。



加西市役所

産業教育常任委員会

◆富山県滑川市

国勢調査データに基づき設定した人口集中地域を対象としたまちなか再生の3事業（まちなか住宅取得支援事業、市街地空き地空き家活用支援事業、危険老朽空き家対策事業）を研修しました。



滑川市内



滑川市役所

◆滋賀県近江八幡市

（総務民生常任委員会も同行）

小浜市が現在進めている公民館のコミュニティセンター化について、平成22年3月より公民館からコミュニティセンターへ移行し、各地区のまちづくり協議会が中心となつて自主的なまちづくり活動を実施している先進地の近江八幡市の取り組みを研修しました。



近江八幡市役所

議会報告会が開催されました

11月14日に雲浜、内外海、宮川地区の各公民館で議会報告会を開催しました。「9月定例会の報告」「人口減少問題について」の2つのテーマを中心として報告が行われ、その後、意見交換会を行いました。3会場で合計65人の市民の皆様にお越しいただき、貴重なご意見を数多くいただきました。

○議会報告会とは？

平成25年4月1日に施行した小浜市議会基本条例により、年1回以上議会報告会を開催し議会の説明責任を果たすとともに、市民の皆様からの意見を議会活動に反映させることになっていきます。今回の各会場の参加者数は、

雲浜公民館・・・20人
内外海公民館・・・22人
宮川公民館・・・23人
でした。

○意見はどう反映されるの？

市民の皆様からいただいたご意見は、議会報告会連絡会（議長、副議長、各常任委員長、広報委員長、報告会場の各班長で構成）において意見等の整理を行い、政策討論会などの議論や議会の政策立案、政策提言に生かします。

○どのような意見があったの？

小浜病院について多くのご意見をいただきました。議会としては、今後議員間で共通認識を持つ機会を作り、知識を深めていくこととしました。

そのほかにいただいたご意見（一部抜粋）

【意見】要援護者避難について、区長として対応しなければならぬ責任を感じる。そのような点においても避難場所は近い方がよい。例えば上竹原の避難場所は文化会館であるが、若狭高校の校舎に避難する方が要援護者のことも考えると速やかに対応できると思う。

【当日の回答】総合的な判断が必要と思われ、どの地域でも考えていかななくてはならない課題。住民の地域課題に対する認識を高めていくことも重要。

【意見】我が地区は、長男が家業を継ぐために残っているが、若者に残ってもらおう対策が必要。都会に何を求めているのかという事を考える必要がある。ファッションなどを求めて都会へ行きやすい交通面の整備が大事だと思う。

【当日の回答】都会との格差として教育やファッション等の文化、医療、働く場所があり、新幹線など交通インフラが良くなれば田舎も発展し人口も増える。高速道路の4車線化も必要。北陸新幹線若狭ルート決定は、地域の地盤沈下対策、人口減少対策の点からも今が一番大事な時期であり、皆さんの応援をいただきたい。

【意見】我が地区は人口が減り半数近くが高齢者。墓や神社の管理もできなくなる。空き家対策を含め、市街地と村部それぞれ集落単位の対策が必要だと思う。

【当日の回答】市の人口は2040年には23000人台になると言われている。高齢者医療や介護などの福祉費が増え続けている中、市でも小学校の統合などを進めている。今後は各地域の実情に合わせ、すべての事業において人口対策を取り入れる必要があると思う。企業の誘致など、働く場所と所得を確保するためにも交通インフラの整備が必要である。

【意見】小浜の観光は、一時期に大勢の人を望むのか、あるいは、一定の

人数が常に来てくれることを望むのか。それによって観光戦略が必要で、市の姿勢が見えない。

【当日の回答】現在、3駅構想として、道の駅・海の駅・まちの駅の整備を進めている。また、西組の重伝建地域の整備や、旭座の再生にも取り組んでおり、交流人口を増やす取り組みを進めている。リピーター客を増やし、小浜のファンづくりが必要。内外海の民宿のように固定客づくりを町全体で取り組んでいくことが大事。



内外海公民館

アンケート結果

(64名の方にご回答いただきました)

【本日の議会報告会の評価】

わかりやすかった	46・9%
どちらとも言えない	37・5%
わかりにくかった	4・7%
無回答	10・9%

【議会だより】

防災対策	16・7%
まちづくり	24・6%
産業	13・5%
観光	8・8%
教育	8・8%
歴史や文化	3・2%
環境問題	7・9%
その他	0・6%

議会
福祉

毎回見る
興味のある部分だけ見る

毎回見る	53・1%
興味のある部分だけ見る	31・3%

ほとんど見ない

発行を知らない	7・8%
無回答	0%
無回答	7・8%

【自由記載欄】(一部抜粋)

●とてもよい取り組み。これからも続けてほしい。

◇
◇
●参加者が少ないと思う。また、年齢層が中年に限られている。若い

人が興味を持ってくれるようPRが望まれる。

◇
◇
●役所からの提案事項だけでなく、積極的な議員提案を。

◇
◇
●議会だよりは時々見ているが、内容はあまり覚えていない。今日見せていただいた資料は良かった。

◇
◇
●人口減少問題について議会としてどのようにしていきたいのか、どうすべきかの意見を持っていないように感じた。市民

の意見に耳を傾けるのは良いことだが、議会の考え方・思いを伝えて、その思いに対する意見を求めてほしい。

◇
◇
●議会だよりは毎回いただいている。表紙がフルカラー化されたのもうれしい。

◇
◇
●聞き流していた人口減少問題を改めて考えさせられた。現実を見つめながら、先の事もこれからの子どもたちのために皆で協力する事が大事だと思った。

◇
◇
●初めて参加させてもらった。このような場所での発言はなかなかできなかった。もう少し少人数のグループならよかった。

◇
◇
●本当に良い例の市町村があれば100回でも見せてほしい。



宮川公民館



雲浜公民館

委員等の変更がありました

◆北陸新幹線若狭ルート早期実現特別委員会 (副委員長)

池田 英之 → 下中 雅之

◆若狭消防組合議会議員

池田 英之 → 清水 正信

市政を問う！一般質問

平成 26 年第 5 回（12 月）小浜市議会定例会

ページ	氏名	質問項目	ページ	氏名	質問項目
8	池尾 正彦	・人口減少対策について ・原子力災害による広域避難について	10	風呂 繁昭	・平成 27 年度当初予算編成方針について ・若狭おばま 魅力発信、誘致拡大について
8	西本 清司	・地域生活路線バス運行対策事業について ・市立保育園統廃合及び民営化について	10	能登 恵子	・人口減少社会に向けたまちづくりの焦点 ・市の省エネ推進について ・多機能トイレについて
9	小澤 長純	・土砂災害対策について ・国民健康保険税について ・小浜駅前整備について	10	下中 雅之	・広域行政の推進について ・地域医療の充実について
9	藤田 靖人	・市内、中・西部のまちづくりについて ・空き家対策について	11	宮崎治宇蔵	・水循環基本法について ・原発の避難計画について ・井上工業倒産にともなう小浜市の対応について
9	池田 英之	・若狭小浜の創生について	11	松崎圭一郎	・原子力発電所と自衛隊の相関関係は？ ・拉致問題の見直しは？



池尾 正彦
議員

【問】小浜市の人口減少対策への取り組みについて。

【答】来年度に予定している第 5 次総合計画の基本計画の改定や、「まち・ひと・しごと創生法」に基づき策定することになる小浜市の総合戦略に反映させる。早期に取り組みべきものについては、国・県の施策、予算の動向を十分踏まえた上で小浜市の特性を活かした独自の施策も検討し、当初に限らず補正も含まれた平成 27 年度予算に反映させる。

【問】人口増進を目指す方策について。

【答】教育の充実も大切な要素であり、なかでも小学校・中学校の連携と「ふるさと教育」を実施している。また、小中一貫教育につ

住みよい小浜市を求めて

いては、今後の検討課題である。

【答】医療の充実の為には、医師不足の解消に全力で取り組む。

【意見】この両方に共通する事は「人々に小浜市に住みたいという安心感を持たせること」に連なると思う。

【問】原子力災害による広域避難について。

【答】自家用車避難による駐車場の確保等受け入れ自治体との間で協議・調整が必要であり、小浜市としても早期に福井県・兵庫県の元自治体の 4 者協議を開催していただくよう当局に要請している。

【意見】小浜市広域避難計画を見て思うことは、避難行動に困難を感じ、今も福島原発事故により、故郷へ帰れない人たちの心情を思うと私の心の痛みは消えない。



西本 清司
議員

【問】あいあいバス運行の現状分析において市民の声は聴いているのか。今後継続していくための方策は考えているのか。また、継続には運賃収入の見直しを見据えていかなければならないと感じるが、市の考えを問う。

【答】市民の声はアンケートやバスを運行する協会を通じて情報共有や意見交換等行い事業に取り組んでいる。開始当初の平成 14 年度と比較して利用者数の大幅減による収支率の低下が顕著となっており、一部デマンド等も取り入れている状況である。今後車両の老朽化に伴う入替えや、また継続等も考慮して運賃収入の見直しも含め検討していきたい。

あいあいバスも保育園も市民の感覚で！

及び民営化の前期計画（近隣エリアの統廃合）は概ね計画通り進んでいるが、後期計画（遠距離エリアの統廃合）を進めるにあたり地域住民とメリットやデメリット等共有されているのか。それが今後生かされるのか、市の考えを問う。

【答】これまで市営では田島保育園と内外海児童センターを統合、小浜第一と第二保育園を統合、今富第一と第二保育園を統合民営化、現在は雲浜・西津保育園の統廃合民営化を進め来春開園予定である。この間それぞれの統廃合や民営化実施にあたり保護者や地域住民を対象に説明会等開催して多くの要望など頂いたが、これらの声は全保護者に周知し、公民館にもお知らせした。後期計画にあたっては説明会を開催し、保護者や地域住民の意見を踏まえたうえで進めてまいりたい。

一般質問



小澤 長純
議員

【問①】広島をはじめ土砂による大災害が頻りに起きている。本市には危険箇所がたくさんある。砂防堰堤の整備が急がれるが取り組み状況はどうか。また、ハザードマップの避難場所・地域防災計画の見直しが必要と思うがどうか。

【答】今年度は20件の要望があり採択基準を満たすものは3件である。現在、6箇所堰堤事業を実施中である。山間地域の避難所で警戒区域内にあるところが多く安全対策が取れていない。安全確保に向け対応を検討する。地域防災計画は常に検証し必要に応じ見直しを行っていく。

【問②】国民健康保険税は、重税感が非常に高く算定方法もわかり

山間地域の砂防堰堤整備を急ごう！

づらい。市町村から都道府県へ運営主体が移管されると保険税はどう変わるのか。

【答】国では平成29年度を目途に協議を行っていくが、保険税が急激に変化することのないよう検討が進められている。

【問③】道の駅・まちなかの駅・海の駅の整備が進められているが、小浜駅前周辺の整備についての市長の見解はどうか。

【答】小浜駅は、鉄道を利用する観光客や高齢者や学生を「まちなかの駅」へ誘導する重要な拠点である。3駅連携構想に加わることで、この構想をさらに進化・発展させるものと考ええる。「まちなかの駅」が整備されると人の動きも変わる。今後の駅前周辺の動向を見ながら、賑わいのある街並みの形成に向けた取り組みを進めていきたい。



藤田 靖人
議員

【問】小浜地区では、「まちなかの駅」整備や街路景観の整備事業等を生かして活性化を図る為、「まちなかの駅」への時計台の寄贈に向けた取り組みを進めており、また小浜西組の「まちなかdeフェスタ」や濱参道における「おばま濱参道楽市」の開催など、地域住民が主体となる取り組みが盛り上がりつつあるが、旭座をはじめとする「まちなかの駅」との連携に重要であると考えられているが、いかがか。

【答】この事業の効果をより高める為には、多くの市民、団体、事業者等の主体的な参加が不可欠であり、グループを問わず日常的に「まちなかの駅」を活用して地元ならではの賑わい創出に取り組んで

まちづくりでの市民と行政の協働を！

いただくとともに、「旧旭座」についても放生祭の稽古披露など、生きた文化財として積極的に活用いただき、観光客のおもてなし等でも訪れる方々に気持ちよく散策してもらえよう期待しており、行政も含めた協働体制の中で、一丸となつて取り組んでまいりたい。

【問】空き家等対策の推進に関する特別措置法が制定されたが今後の市の対応はどうか。

【答】本法律では空き家対策を行う為の基本方針を国が策定するよう義務づけ、放置すれば倒壊などの恐れがある空き家に対し、市が立入調査のほか撤去や修繕を所有者に命令できるとともに、所有者等を把握するための固定資産税情報の内部利用を可能としている。基本方針の内容をふまえ、県および県内市町が参加している福井県空き家対策協議会でも対策を進めてまいりたい。



池田 英之
議員

【問①】若者が魅力を感じる、帰ってきたいと思えるまちづくりにはどのように取り組んでいくのか。

【答】社会動態で20歳〜39歳の転出超過が本市の課題となっていることから、人口減少問題対策本部において全庁横断的に検討していく事としている。

【問②】北陸新幹線若狭ルートの早期実現に向け、何に重点をおいて取り組んでいくのか。

【答】今後、工期短縮問題の決着以降、敦賀以西ルートの議論が本格化するよう強く求めていく。県や京都・亀岡市との協力による京都府への要望等も強めていきたい。若狭ルートの実現に向け、小浜市として全力で取り組んでいきたい。

若狭小浜の創生、地域の“強み”発揮を

【問③】管産業をはじめとした地場産業からビジネスを育成することはできないか？

【答】来年度ミラノ国際博覧会に出展する予定で、ヨーロッパの地でたくさんの人に見て頂くことから、新たな販路開拓や新商品の開発に繋がっていくものと考えている。

【問④】地域資源を次世代に引き継ぎ、地域間競争に打ち勝つため、来年度の第5次総合計画の改定にあたり何を重視し、今後どのようなまちづくりを進めていくのか。

【答】人口減少対策については、新たな発想で取り組み、若者の意見も聞きたい。舞若道の全線開通を最大限活用して経済・産業の振興に取り組み。「食のまちづくり」によるシティブランド力を更に高め、住みたい・住み続けたいと思うまちづくりを進めていく。



風呂 繁昭
議員

【問】平成27年度当初予算編成について財政調整基金（貯金）を1億円取りくずし、義務的経費以外の全ての経費を対象にマイナス5%の設定をしなければならぬ。どの様に必要な財源を確保されるのか。

【答】平成27年度の当初予算編成方針は経済情勢の回復は低調で、一般財源収入全体では減少となる見込みである。既存事業の見直しや廃止、義務的経費を除き一般財源ベースで5%のマイナスシーリングを設定する。民間企業のノウハウを活用し、行政サービス向上やコスト削減を図るため、事務事業の民間委託等を推進していく。

【問】円安によるデメリットは小浜に多いと

2015年財源をどの様に確保するのか

思われる。箸の原材料、水産加工品にも輸入物が多い。その上国内漁獲量も少なく、小浜の景気状況は非常に厳しい。スピーディに経済

対策に力を注がなければならぬ。産業競争力強化法に基づく創業支援事業計画の認定を早急に進めるべきである。旅行者に小浜の魅力ある観光素材を売り込む中で、宣伝、広報の重要性を再認識してほしい。

【答】賑わいの創出や誘客促進に「まちの駅」「道の駅」「海の駅」と連携して、市内観光スポット等への回遊性を考え小浜市全体の活性化に結びつけていく。歴史・文化、伝統、自然景観の地域資源を大切に滞在型、体験型観光メニュー作りに取り組み、各種商談会にプランの提案等、営業活動していく。



能登 恵子
議員

【問①】人口減少社会に向けたまちづくりの中で、若い世代に大きな負担となるのは、増大する扶助費と老朽化した公共施設。計画的な改修と有用な活用が重要となる。新しい計画も進行中だが、早くデータを出して進めてもらいたい。今年調査した自治体の公共施設の延床面積平均値は3.22㎡/一人当たり。小浜市5.14㎡と重くなっている。

【答】人口減少対策は、国を挙げて取り組むことが不可欠だが、本市の特性に即した独自の対策も必要。検討に当たっては、若者との意見交換や専門家の研修などを行い、市長をトップに全庁体制で取り組む。

【問②】市の省エネ推

住みよいまちへ！総合管理計画を早急に

進は、市庁舎を始め進んできたと思うが、「省エネ診断」が出来ていない施設でのトラブルでは非効率な設備の更新となっている。他の施設の診断を進めるべきでは。

【答】一般社団法人省エネセンターが年間エネルギー使用1000klから1500kl未満が対象で診断。市庁舎、食文化館、クリーンセンターが診断済みだが、温水プールや衛生管理所、水源管理事務所等の熱量が高い。今後未実施の施設についても計画的に受診しコスト削減に努める。

【問③】新バリアフリー法により多機能トイレにオストメイト対応が追加された。新しく設置するトイレに計画的にノーマライゼーション視点を持つべきでは。

【答】市民や観光客にも多機能トイレの充実が重要。HPなどでの情報発信に努める。

【問④】新バリアフリー



下中 雅之
議員

【問】廃棄物処理広域化準備室の今後の取り組みについて伺う。

【答】廃棄物の広域化事業については、広域ごみ焼却施設の早期稼働を目指し、取り組んでいきたいと考える。

【問】地元等の協定で運転期間15年となっているクリーンセンターの現状と将来のあり方について伺う。

【答】運転期間15年を迎えるため、現在、地元の方々と運転期間延長について協議をさせて頂いている。今後、運転期間延長の了承を頂ければ、大規模な基幹的設備改良工事を実施し、広域ごみ焼却施設が稼働するまでの間、これまでと同様、公害のない安全で安定した施設の運転に努めてまいりたい。

【問】人口減少の進む中、本市の広域行政と定住自立圏構想に対する考えを伺う。

地域住民との信頼関係の構築を！

【答】持続可能な形で行政サービスを提供していくため、また、地方分権の受け皿といった観点からも、近隣市町との有機的な連携による活性化が不可欠な時代となってきたと感じている。定住自立圏の導入も前向きに研究しているところである。

【問】公立小浜病院との連携による、訪問看護の取り組みに対する本市の考えを伺う。

【答】公立小浜病院では、訪問看護への取り組みを模索しているところであり、本市としても、今後、医療と介護の両方のニーズを持ち合わせる高齢者がますます増えてくることから、これらが予測され、これらのニーズに対応していくためには、在宅医療と介護の連携が重要であると考えている。

【問】人口減少の進む中、本市の広域行政と定住自立圏構想に対する考えを伺う。

一般質問

【問②】原発の避難計画について、県外避難



雲城水

【問①】小浜市の地下水保全、利活用について、今後どのような方策を考えているか。
 【答】「小浜平野地下水調査」の結果が平成27年度中には出る予定であり、それに間に合うように、今後、市民、事業者、行政、専門家などが一体となった「地下水の利用および保全に関する委員会」を立ち上げ、市民への地下水保全の意識醸成につながる取り組みや利活用について協議、検討する。



宮崎治宇蔵
議員

避難計画の実効性を問う！

先の兵庫県内23カ所を視察したが、問題点をいくつか質問する。
 【答】県外のスクリーニング・除染候補地については、県を通じて国に対し要請している。住民の避難方法は原子力災害の事態の進展の区分に基づき、段階的避難により避難する。避難車両台数や拠点避難の設置の有無などについて協議しなければならぬ。出前講座などを通じて、避難計画の説明をしていく。
 【問③】(株)井上工業倒産にともなう小浜市の対応について。
 【答】平成26年9月13日、経営の継続が困難となり、9月30日付けで全員の解雇が言い渡された。再就職の支援については、約130人程度おられたが、そのうち約4割の方が再就職された。雇用保険の失業給付が終了となる平成27年の5月、6月が1つの区切りとなる。

【問①】福島原発事故を良いことに、東電の沸騰水型と関電の加圧水型原子炉の特性等を示さず、地震だの津浪だのと恐怖感を煽るイデオロギー集団がいるが、もし津波等の自然災害に見舞われた時、我々にとって、最も安全が確保された避難場所として挙げられるのは、皮肉にも原発が位置する場所ではなからうか。ただ、このように自然災害からは回避できたとしても、人為的なテロからは、原発はどの様に守られているか。
 【答】警備については、嶺南機動隊内に設置されている原子力関連施設警戒隊が行っている。
 【問②】原発に特化した警察特殊部隊のように思われるが、北朝鮮の特殊部隊でさえ、マ



松崎圭一郎
議員

原子力発電所と自衛隊の相関について

シンガンは勿論の事、ロケット弾、対戦車ミサイル、迫撃砲などを保持しており、今の警察力では、とても対応できるものではない。本来、国防と言う観点からも、原発がある地域には、当然自衛隊が常駐しても良いはずだが、現状も踏まえて、今後自衛隊を、誘致する様な考えは有るか。
 【答】朝鮮半島情勢等を踏まえ、テロ行為に対する危機感などから、嶺南6市町で、自衛隊の誘致要望を、県へ伝えた。
 【問③】拉致問題で、家族会・救う会等の慎重論を退けて、外務省はピョンヤンへ向かったが、インテリジェンス能力の低さを露呈しただけで終了、この現状をいかに捉えるか。
 【答】今も日朝協議の調査報告は出ず、一部緩和した制裁の復活等に苛立つ声もあって、今後とも政府には毅然として望んでほしい。

議会を傍聴しませんか？

議会を傍聴する手続きは、5階の議会事務局で住所と氏名を書くだけです。

* 3月定例会の予定 *

- 2月20日(金) 本会議
- 2月23日(月) 本会議
- 3月9日(月) 一般質問
- 3月10日(火) 一般質問
- 3月23日(月) 本会議

今月の表紙

国富小学校

画像提供：国富小学校

自然豊かな田園地帯に位置する国富小学校。「国富一周ふるさと駅伝競走大会」は、子どもたちと地域住民が交流を持ち、郷土愛を深めてもらうきっかけになっています。12月にはラディッシュの収穫体験が行われ、子どもたちが寒さに負けない元気な笑顔を見せてくれました。

加斗小学校児童のガンバリ!



「食と環境、農業を守る福井県行動委員会」より依頼を受け、アジア・アフリカで飢餓に苦しんでいる人たちに支援米を送る取り組みをしています。

子供たちが田植え・稲刈りなどの農業体験を通し、収穫した米810kgをアフリカのマリ共和国へ送り届けてもらいました。12月5日(金)に福井市で行われる発送式に5年生が参加しました。

7月16日(水)に、ふるさと学習の一環として、国の天然記念物に指定されている蒼島に6年生が見学に出かけました。蒼島は加斗の海岸から1800mほど離れた小浜湾に浮かぶ島で、暖地性群落地としての天然記念物に指定されています。

この見学を通して、ふるさと加斗の自然や文化、伝統などについて理解を深める学習の一つとして、毎年6年生が探検に出かけています。



7月18日(金)に鯉川シーサイドパークで遠泳大会を実施しました。台風の影響で一週間延期し、実施となりましたが、当日は天候にも恵まれ、絶好のコンディションになりました。5年生が300m、6年生が500mをお互いが励まし合いながら、全員無事完泳することができました。

水泳協会の皆さんから、こんなにスムーズに全員が泳ぎ切る学校はめずらしいと、お褒めの言葉をいただきました。

11月9日(日)に実施された加斗地区文化祭に、低学年のみんなが花屋さんを出店しました。販売した花は、子供たちが9月に種まきをし、毎日水やりをし、子供たちで大切に育ててきた苗です。種類はパンジー、ビオラ、わすれな草、ストック、けいとうの5種類です。

午前10時に開店し、開店と同時に大賑わいになり、わずか35分で完売の大盛況でした。



【広報委員会のメンバー】

議会基本条例が施行され、市民に開かれた議会であるためには、議会報告会と議会だよりが重要な役割を担っていると思います。

新年を迎え、広報委員会メンバー一同さらに親しみやすい議会だよりを目指しがんばっております。今後とも、ご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。

後になりましたが、新しい年が市民の皆様にとりまして良き年でありますようにご祈念申し上げます。

(広報委員会副委員長 藤田靖人)

編集後記